

決算特別委員会 (10/24~10/31)

総括質疑の概要

10月24日から始まった決算特別委員会の最終日は総括質疑ということで、私も30分間の時間で総括質疑をさせて頂きました。下記がその内容です。

1. 阪神間と、全国の特例市の平成22年度の決算カードの情報を元に比較し、私なりに宝塚市の財政構造を比較分析し、他の特例市に比べ、人件費が高いことを述べ、人件費の削減を求めました。
2. 公金徴収の公平性を担保するために、公金徴収の一元化を求めました。
3. まちづくり施策について、行政部門がばらばらに、地域の同じ人に集中してお願いしている行政の縦割りについて、もう少し行政として整理するよう求めました。
4. 更に就学前児童に対して、母子手帳配布時や検診時を活用し、教育委員会と市長部局が連携をして、家庭の教育力や地域の教育力の充実に努めるべきであると求めました。
5. まだまだ働きたい或いは働ける高齢者の雇用問題にしても、生活保護等の給付をすることで行政の責任を果たしたと考えず、雇用確保に努める施策を取るよう求めました。
6. 中心市街地活性化策について、原付・バイクの駐輪保管事業が、1回あたりの料金徴収から、時間貸しの制度も作るよう求めました。

最後に、今回の決算特別委員会に参加して、宝塚市の財政状況や524の様々な行政の事業を深く知る上で、非常に役立ちました。個別事業施策に対し、一週間委員と行政の間で繰り広げた議論を、事業仕分けの場で行うことで、市民の皆様や専門家の皆様のご意見を取り入れ、宝塚市の発展に尽くすべきことを申し上げ、総括質疑としました。

メールマガジン発行中

いとう順一の活動や考え方をタイムリーに皆様にお伝えさせていただきたく、月に2回程度メールマガジンを発行させて頂いております。

昨年6月24日に第1号を発行させて頂いてから、既に13号を数えました。

携帯電話のメールでは、ご迷惑になることもございますので、パソコンのアドレスをお持ちの方に送信させて頂いております。

ご希望の方は、

✉ tukuru@jito.jp

までご一報ください。

いとう順一プロフィール

49歳 O型

学歴：1962年7月 宝塚市生まれ/めぐみ幼稚園/宝塚第一小学校/宝塚第一中学校/高司中学校(中学2年生時に新設のため転校)/兵庫県立宝塚高校/立命館大学経営学部卒

職歴：1984年4月大阪国税局に国税専門官として採用
尼崎税務署所得税課配属
1987年8月大阪国税局退職・(有)阪神米油宝塚入社/現同社代表取締役

政治歴：2007年4月 兵庫県議会議員選挙 トップ当選
2009年4月 宝塚市長選挙に伴う出直し選挙に出馬するも次点

2009年10月~2011年1月 衆議院議員事務所長

2011年4月 宝塚市議会議員選挙当選

家族構成：5人家族(妻・長男中学生・次男三男小学生)

座右の銘：『忠恕知略』日本資本主義の父、渋沢栄一氏の言葉
誠実に相手の立場に立って物事を考え、日々知識を習得し、頑固になり過ぎないように生きるべきという言葉

いとう順一とつくる会 通信

いとう順一とつくる会 会員大募集!

- ・本会は「いとう順一」を囲み、社会的、文化的、政治的活動を支援することで、新しいまちづくりを推進することを目標とし、講演会、座談会、研修会、親睦会などを開催致します。 ・年会費は5000円です。
- ・いとう順一の政治姿勢・趣旨にご賛同頂ける方は、まずは電話・FAX・メール等でご一報下さい。



〒665-0033 兵庫県宝塚市伊子志 2-17-8-4F いとう順一とつくる会事務局

TEL & FAX : 0797-72-2130

✉ tukuru@jito.jp